

行政視察等報告書

平成29年5月11日

米子市議会議長様

会派名 蒼生会  
 代表者氏名 渡辺 穂 爾  
 提出者氏名 三穂野 雅 俊



下記のとおり報告します。

記

項 目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参 加 者	岩崎康朗、門脇一男、田村謙介、三嶋秀文、三穂野雅俊、 湯浅敏雄、渡辺穂爾
期 日	平成29年4月25日から平成29年4月27日まで
〔概 要〕（年月日・場所・内容） 平成29年4月25日 滋賀県草津市「草津未来研究所について」 4月26日 滋賀県長浜市「地域づくり協議会について」 4月27日 大阪府茨木市「地域担当職員制度について」	
〔所 感〕 別紙のとおり	
経 費	旅費総額 297,146円

## 草津市行政視察報告書

米子市議会 蒼生会

調査項目「草津未来研究所について」

### <所感>

草津未来研究所は、草津市役所総合政策部内に設置された市の部署の一つである。

草津未来研究所は平成 22 年 4 月に設立され、今年で 8 年目となる。研究所の設立の目的は、地域の課題を解決するため自治体の政策研究機能を高度化し、草津市の未来を見据えた創造力ある政策を提案することを通じて、草津市の未来を切り拓くことに寄与することにある。

自治体の研究所として地域の実践的な課題解決に取り組むことは当然であろうが、同時に中長期的・戦略的な視点を持って、10 年先、20 年先の地域と自治体の役割を見通した政策研究と提言を行うという、きわめて重要な任務を併せ持っている。

この目的を果たすために、研究所では、

- 1.政策情報の収集、分析、指標化、発信等に関すること
- 2.政策課題の調査研究に関すること
- 3.計画策定に係る支援に関すること
- 4.職員の人材育成に関すること
- 5.立命館大学等高等教育機関との連携に関すること、などの業務を行っている。

これまでに研究所では、「南草津のまちづくりに関する調査研究」「6 次産業化に関する調査研究」「医療福祉に関する調査研究」「大学と地域の連携に関する調査研究」「市民が求める『住みやすさ』の調査研究」等々、これらの課題をテーマとして調査研究を行っている。

研究所ではこれらの調査研究を元に、政策提言や提案を行い、政策の後押しをしている。

また、職員の政策形成能力の向上と草津市の未来を担う人材の育成を目指し、研究所とともに調査研究に参加する担当課の職員や研究員が、研究所における調査研究活動や大学との共同研究などを通して、課題発見能力や調査研究能力・論理的能力を育成し、政策形成能力の向上を図っている。

さて、米子市に於いてはどうであろうか。

草津市の課題は米子市の課題と共通するものが多い。草津未来研究所のような部署が本市には設置されていないが、現在本市では若手職員を中心とした勉強会を随時開催している。この勉強会の質を更に向上させ、課題を発見できる力や政策立案能力を

養う人材育成に、今以上に力を入れていくべきだと考える。

このことは我々議員にもそのまま当てはまる。米子市政発展のため、議会や議員の質をもっともっと高めねばならないと痛感した。

## 長浜市行政視察報告書

米子市議会 蒼生会

調査項目「地域づくり協議会について」

### <所感>

市民の社会的ニーズが益々多様化・複雑化している今日、公共サービスを提供する行政やサービスを提供する企業等だけでは、市民の社会的ニーズに対応しきれなくなってきた。そのため、それぞれの地域の課題解決のために、新たな公共の担い手が求められており、自ら課題解決できる人材を育成するとともに、行政と役割分担を行い、協力して課題解決を図っていく必要性が生じ始めた。

本市においては、この問題に対して、既に車尾地区、永江地区をモデル地区と定め、新しいまちづくりに取り組んでいるところである。蒼生会としても、このモデル地区の取り組みを全市的に広げられるよう当局に要望を行ってきたが、その手法や仕組みづくり等についての具体的な制度設計の提案には至っていなかった。そこで、今回、先駆的な取り組みを行っている長浜市にて行政視察を行うこととした。

行政視察を通じて認識した本市のこれからの課題についてであるが、①公民館の役割について、今後は社会教育の場としてのみならず地域コミュニティ形成の場としても捉えていかなければならないこと、②地域づくり協議会の位置づけを明確にしなければならぬこと（自治会との違い）、③地域内分権を進め、一括交付金制度を導入した場合の問題の整理等々であると認識した。

地域の課題は地域で解決するというまちづくりの方向性は進めていかなければならないが、その制度づくりには、まずはやはり行政が政策として推し進めていくという姿勢がなければ進んでいかない。まちづくりについて、最終的に行政の手を離れ、行政がサポート役に徹することを目指すにしても、初期の段階では行政の積極的な関与が必要であると強く感じた。

## 茨木市行政視察報告書

米子市議会 蒼生会

調査項目「地域担当職員制度について」

### <所感>

これからの少子高齢化に向けて、地域では様々な課題が起こることが想定されます。この解決のためには、今までの組織や体制だけでは対応が難しいため各地で様々な取り組みが始まっています。

そこで今回視察で訪れた大阪府茨木市では、10年後20年後も子ども達が住みやすい地域にするための取り組みが始まっています。

茨木市では、少子化・自治会加入率低下・近所付き合いを好まない風潮のため、地域の繋がりが無くなっていることが様々な地域課題を発生させていると考え、その課題に取り組むため「地域コミュニティ基本方針」を策定しました。

内容としては、地域課題に率先して取り組もうとされている地域に対して、既存の組織をまとめるような形で「地域自治組織」を立ち上げることを行政が支援し、行政職員（地域担当職員）と一緒に課題解決しようというものでした。

ここで特徴的であると感じたことは、率先して取り組む所のみ行政は支援をし、積極的ではない地域には啓発はするものの支援はしないということです。確かに地域ごとに住民の考え方も課題も違う訳で、行政側からどの地域にも当てはまる施策を提案することは出来ないと思うので、しっかりした線引きをした上で行政として取り組んでいることに感銘を受けました。

米子市でも、今後想定される課題、現状の課題は多くは同じはずですが、地域包括ケアなど様々な取り組みは行われていますが、地域住民の抱える課題解決や不安の払拭にはまだまだ至っていないと捉えています。今回学んだことを参考に、今後の地域のあり方にアプローチして行きたいと思います。

行政視察行程【会派：蒼生会（岩崎康朗、門脇一男、田村謙介、三嶋秀文、三穂野雅俊、湯浅敏雄、渡辺稔爾）7名】

月 日	行 程	宿 泊 地
4 / 2 5 (火)	<p>8:19 米子駅 == (伯耆大山駅) == 10:35 岡山駅 == 11:54 京都駅 == 12:15 草津駅 == 12:35 草津市役所 JR 特急やくも 8号 JR 新幹線のぞみ 16号 JR 琵琶湖線新快速・野洲行</p> <p>【昼食】 草津市役所 電話：077-561-2413</p> <p>草津市行政視察 午後2時00分ごろから2時間程度 【調査項目】草津未来研究所について</p>	<p>【宿泊先】 ホテルホストンプラザ草津 びわ湖 ☎077-561-3311</p>
4 / 2 6 (水)	<p>8:42 草津駅 == 9:15 米原駅 == 9:34 長浜駅 == 9:48 長浜市役所 JR 琵琶湖線新快速・米原行 JR 北陸本線・敦賀行 (送迎)</p> <p>長浜市行政視察 午前10時00分ごろから2時間程度 【調査項目】地域づくり協議会について</p> <p>13:04 長浜駅 == 14:27 高槻駅 == 14:31 茨木駅 JR 琵琶湖線新快速・姫路行 JR 京都線快速・姫路行</p> <p>【昼食】 議会事務局 電話：0749-65-6547</p>	<p>【宿泊先】 ホテルクレストいばらき ☎072-620-2020</p>
4 / 2 7 (木)	<p>※9:45までにホテル玄関前に集合</p> <p>宿泊先 …… 茨木市役所 (送迎)</p> <p>茨木市行政視察 午前10時00分ごろから2時間程度 【調査項目】地域担当職員制度について</p> <p>13:01 茨木駅 == 13:14 新大阪駅 == 14:05 岡山駅 == 14:50 米子駅 == 17:17 米子駅 JR 京都線・須磨行 JR 新幹線のぞみ 29号 JR 特急やくも 17号</p>	

旅費計算表

厚生会会派行政視察

滋賀県草津市・滋賀県長浜市・大阪府茨木市

平成29年4月25日～平成29年4月27日(2泊3日)

月日	区間	鉄道路線名	区キ	間数	目的地までのキ数	運賃	グリーン	急行料		金	宿泊		料	
								特別	新幹線		甲	乙		
4/25 (火)	米子～岡山 ～(東淀川)	JR	159.1	181.0	10,290	阪神早得往復				議員1,500円 随員1,100円	1,500	14,800円	13,300円	9,800円
	～京都 ～草津	JR	39.7	22.2										
4/26 (水)	草津～米原 ～長浜 ～高槻 ～茨木	JR	45.5	7.7	1,940						1,500			10,080
4/27 (木)	茨木～新大阪 ～岡山 ～米子	JR	10.8	180.3	220						1,500			
計	議員旅費 随員旅費				41,030	14,390	0	0	0	2,460	4,500	0		19,680

出席議員 岩崎康朗、門脇一男、田村謙介、三嶋秀文、三嶋野雅俊、湯淺敏雄、渡辺穰爾

議員旅費 41,030 × 7名 = 287,210  
 お土産代 2,052 × 3カ所 = 6,156 (草津市、長浜市、茨木市)  
 旅行取扱手数料 540 × 7名 = 3,780  
 ①旅費総額 297,146 円  
 ②資金前渡 299,990 円  
 精算(①-②) ▲ 2,844 (戻入)